

二つになった金メダル

新年あけましておめでとうございます。今年もみなさんにとって良い年でありますように願って、三学期、最高学年へ向けての零学期のスタートとしたいと思います。

さて、冬休みの期間中、東京箱根間往復大学駅伝や高校サッカー・春高バレー等を始めとして、各種のスポーツイベントが開催されていきました。会場に足を運びたいところを「ぐっ」とこらえてテレビ等で観戦した人も多いと思います。年の初めは、苦勞を重ねてつかみ取った金メダルを、二つに割ったという話をしましょう。

一九七六年のモントリオールオリンピックの女子バレーボール。マツ(松田紀子)はコートに、マメ(永木芳子)は観客席にいました。マツは高校時代エースアタッカーでした。マメは名セッター(バレー

ボールで攻撃の中心となつて、トスをする選手)。高校を卒業した二人は、ともに当時の実業団チームの名門日立に入社、チームメイトになります。二人はとにかく気が合いました。高校時代から数々の大会に出場していたので、お互いの顔は知っていました。日立に入社してからさらに意気投合(人生観や趣味などが一致して、気が合うこと)として、

親密になり、端から見ても姉妹のようでした。しかし、身長が160センチ台しかなかった(当時でも、この身長はバレーボール界では低かった)マツは、やがてアタッカーをあきらめセッターに転向(方向・針路・方針・立場・態度・好みなどを変えること)。仲のいい二人がライバルになったわけです。ただ、マメは親友マツに、惜しげもなくセッターとしての技術を伝授(秘伝・奥義などを伝えること)してしま

す。セッターとしてよりも、抜群の守備力を生かし、レシーブの専門家に自分の道を見いだしていたからです。そして、二人でオリンピックのコートに立つことが共通の夢になりました。モントリオールオリンピックの年の春、14人の最終候補選手が発表されました。もちろんマツとマメの名前もその中にありました。マツはセッターとして、マメはレシーブのスペシャリストとして。ただし、

オリンピック代表になれるのは14人のうち12人です。そして、最終発表にマメの名前はありませんでした。『マメのおかげでセッターになれた、マメのいないオリンピックなんて行きたくない』マツは一時そう途方に暮れ(どうしていいかわからず困ること)ましたが、二人分頑張る(がんばる)のがマメのため、自分のためと思ひ直します。そして、モントリオール練習の手伝いとして帯同(一緒に仕事をすること)し

て手伝ってくれる人をなどを連れて行くこと)したマメの目の前で、日本チームは見事に金メダルを獲得(かちとく)します。試合の後、観客席に向かつて手を振るマツの視線の先には、もちろん拍手を送るマメの顔がありました。『二人の金メダルだよ』マツからマメに手渡されたおみやげは、真ん中から二つに切断された金メダルでした。

スポーツに関する逸話は、オリンピックだけではありません。二つになった金メダルは、真ん中から二つに切断された金メダルでした。

冒頭にも述べましたが、三学期は、二年のまとめの学期であり、最高学年へ進級するための準備の零学期でもあります。新型コロナウイルスの影響がまだまだ続く丑年ですが、牛歩のごとく一歩一歩確実に前進していきたいものですね。

せん。延期になった世界のスポーツの祭典が、併せて皆さんの三年間の部活動の成果を発揮できる大会やコンクールが今年開催されることを強く願います。

来週の予定:1月11日(月)~15(金)

- ※ 1月8日(金) 特別時間割
- 8:30 ~ 8:35 朝学活
- 8:45 ~ 9:05 始業式
- 9:10 ~ 9:30 学活
- 9:40 ~ 授業
- (金曜時間割2~4校時)
- 12:30 ~ 12:40 終学活
- 12:50 ~ 下校

日	曜	行事
1 1	月	成人の日
1 2	火	普通時程 時間割通り 1校時: 道徳 給食開始→白衣
1 3	水	普通時程 時間割通り
1 4	木	普通時程 時間割通り
1 5	金	普通時程 時間割通り 5校時: SDGs 発表会 ※椅子を持って体育館 6校時: 総合